



高円宮牌 2012ホッケー日本リーグ【男子】第4節 第8日

開催日時 9月9日(日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 曇り

【全試合結果】

Aコート

M43 第1試合 10:00	天理大学ベアーズ	2	$\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$	2	山梨学院OCTOBER EAGLES
M44 第2試合 11:40	立命館大学ホリーズ	9	$\begin{pmatrix} 4 & -0 \\ 5 & -0 \end{pmatrix}$	0	診療印刷
M45 第3試合 13:20	岐阜朝日クラブ	3	$\begin{pmatrix} 1 & -1 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$	2	法政大学
M46 第4試合 15:00	名古屋フラーテルホッケーチーム	4	$\begin{pmatrix} 2 & -0 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$	1	小矢部RED OX

Bコート

M47 第1試合 10:00	ALDER飯能	3	$\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 2 & -1 \end{pmatrix}$	1	Selrio島根
M48 第2試合 11:40	東京農業大学	3	$\begin{pmatrix} 1 & -2 \\ 2 & -2 \end{pmatrix}$	4	福井クラブ

【各試合の結果・詳細】

第1試合 Aコート M43

天理大学ベアーズ 2 $\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$ 2 山梨学院OCTOBER EAGLES

勝点 16
5 勝 1 分 2 敗

勝点 10
3 勝 1 分 4 敗

<得点>

天理大 : 30分#26三谷力、45分#11小澤

山梨学院 : 34分#20大家、40分#2細木

<戦評>

第4節岐阜シリーズ2日目の第1試合、山梨学院OCTOBER EAGLESのセンターパスで試合が開始された。開始1分山梨学院がPCを獲得するが得点には至らない。対する天理大学ベアーズも20分にPCを獲得するがチャンスを活かせない。30分にPCを獲得した天理大は、#4松村のフリックシュートのリバウンドを#26三谷力が押し込み先制する。このまま前半終わると思われたが、34分に山梨学院#20大家在相手DFのトラップミスしたボールを押し込み同点とし前半が終了。

後半は、開始から山梨学院が優勢に攻め込む。40分に山梨学院がPCを獲得し、#2細木がヒットシュートを決め逆転2-1とする。しかし、45分には天理大#15吉原のパスを#11小澤が合わせ、タッチシュートを決め2-2とする。その後、両チームともにPCを獲得するが、得点することができず2-2のまま試合が終了した。

テクニカルオフィサー	大橋 俊彦	アンパイア	戸塚 洋介
ジャッジ	大河内 広之		児玉 茂樹

第2試合 Aコート M44

立命館大学ホリーズ 9 $\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$ 0 診療印刷

勝点 19
6 勝 1 分 1 敗

勝点 0
0 勝 0 分 8 敗

<得点>

立命館大 : 1分#28田中健、8分#8堀江、10分#28田中健、21分#5伊藤、41分#5伊藤、50分#9森

51分#22藤原、54分#28田中健、55分#28田中健

診療印刷 :

<戦評>

立命館大学ホリーズのセンターパスにより試合が開始された。開始直後、立命館大#28田中健がドリブルで相手をかましリバースヒットで先制点をあげる。さらに8分立命館大#4堀谷のセンターリングに#8堀江があわせて追加点をあげる。つづけて10分立命館大は#1藤吉のパスに#28田中健があわせて3-0とする。反撃に出たい診療印刷は、相手の隙をつきゴールを狙うが得点出来ず。20分に立命館大がPCを獲得し、#5伊藤がフリックシュートを決めて突き放す。28分には診療印刷がPCを獲得するも立命館大DF#2吉田がファインセーブし得点を許さない。そのまま前半が終了し4-0と立命館大のリードで折り返す。

後半に入っても立命館大のペースで試合が進み、41分にPCから#5伊藤、50分には#9森がフリックシュートを決め6点差とする。さらに、立命館大は51分#22藤原、54分・55分に#28田中健がフィールドゴールを決め9-0とする。診療印刷も必死に攻めるが立命館大DFにはばまれ、チャンスをつくることができない。終始圧倒した立命館大が9-0で勝利を収め、勝ち点19とし2位をキープした。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	中元 大輔
ジャッジ	苅谷 和代		木下 英貴

第3試合 Aコート M45

岐阜朝日クラブ 3 $\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 2 法政大学

勝点 16
5 勝 1 分 2 敗

勝点 3
1 勝 0 分 7 敗

<得点>

岐阜朝日 : 29分#26中湯、39分#10伊藤、47分#2百成

法政大 : 16分#6薄井、43分#9朝倉

<戦評>

岐阜朝日クラブのセンターパスにより前半戦が開始された。16分に法政大学#6薄井がPCからフリックシュートでゴールを決め、法政大が先制点を挙げる。29分岐阜朝日がPCを獲得。#2百成のフリックシュートのリバウンドを#26中湯が決め同点に追いつく。両チームとも激しい攻防が続き、互いにチャンスを作るが得点には至らず、1-1で前半を折り返した。39分に法政大DFのミスから岐阜朝日にPSが与えられ、これを岐阜朝日#10伊藤が確実に決めて、逆転に成功した。しかし、43分には法政大#4小林のパスを#9朝倉がタッチシュートで決め、法政大が追いつく。47分岐阜朝日がPCを獲得し、これを#2百成がフリックシュートを決めて、岐阜朝日の1点リードとなる。52分に再び岐阜朝日がPCを獲得するが、得点には至らない。その後、均衡した攻防を繰り広げる中、岐阜朝日が63分、65分とPCを得るが決まらない。法政大もカウンターでシュートまで持っていくが岐阜朝日GK#11佐藤の好セーブで防がれる。緊迫した雰囲気のまま試合が終了し、3-2で岐阜朝日が辛勝。勝ち点16とし、得失点差で4位に浮上した。

テクニカルオフィサー ジャッジ	大橋 俊彦 大河内 広之	アンパイア	富山 善正 高橋 英行
--------------------	-----------------	-------	----------------

第4試合 Aコート M46

名古屋フラーテルホッケーチーム 4 $\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 1 小矢部RED OX

勝点 24
8 勝 0 分 0 敗

勝点 8
2 勝 2 分 4 敗

<得点>

名古屋F : 17分#11川上、34分#14長澤、37分#12坪内、70分#17橘

小矢部R : 70分#18村上

<戦評>

名古屋フラーテルのセンターパスにより試合が開始された。2分に小矢部RED OXがPCを獲得するが得点には繋がらない。17分小矢部Rの隙をつき名古屋F#3粥川のパスを#11川上がタッチシュートで合わせ先制点を決める。26分名古屋FがPCを獲得するが決まらず。前半終了間際の34分、再び名古屋FがPCを獲得し、これを#14長澤がフリックシュートを決めて2点差とする。このまま2-0名古屋Fのリードで前半を折り返した。37分に名古屋F#3粥川のスクープでのパスから#12坪内がダイレクトシュートを決め3点差とする。小矢部Rもゴール前まで攻め込むが、名古屋Fの堅いディフェンスに阻まれ得点に繋がらない。両チーム激しい攻防を繰り広げチャンスを作るが得点が決まらず、小矢部Rにとっては厳しい展開となる。後半終了間際に勢いのある名古屋FがPCをとり、これを#17橘がフリックシュートで決め4-0と更に点差をひろげる。このまま試合が終了するかと思われたが、その直後の70分小矢部Rの#18村上がドリブルからシュートを決め4-1とする。ここで試合が終了し4-1で名古屋Fが勝利し、勝ち点24で首位をキープした。

テクニカルオフィサー ジャッジ	松下 正寿 荻谷 和代	アンパイア	近藤 聡史 成田 健一
--------------------	----------------	-------	----------------

第1試合 Bコート M47

ALDER飯能 3 $\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 1 Selrio島根

勝点 18
6 勝 0 分 2 敗

勝点 8
2 勝 2 分 4 敗

<得点>

AL飯能 : 35分#3塚田、48分#15石田、60分#11北里

セル島根 : 56分#13加納

<戦評>

Bコート第1試合目、ALDER飯能のセンターパスによって試合が開始された。両チームとも激しい攻防を繰り返すが、お互いに得点を決めることができず、均衡した状態が続いた。22分にAL飯能がPCを獲得するもチャンスを活かせず得点には繋がらなかった。前半終了間際、Selrio島根のファウルによりAL飯能がPSを獲得。#3塚田が決めて1-0とし、AL飯能のリードで前半を折り返した。後半開始から両チームもと激しい攻防が繰り返される中、48分にAL飯能#5上向井のセンタリングを#15石田がタッチシュートを決め2-0と点差を広げる。しかし、56分にはセル島根#13加納がPCからフリックシュートを決め2-1とし1点差を詰める。59分AL飯能#5上向井にイエローカードが出て、セル島根が有利に進むかと思いが、60分AL飯能#11北里がドリブル突破からシュートを決め3-1とする。さらに勢いに乗るAL飯能は、62分にPCを獲得するが、セル島根の堅いディフェンスにより阻止される。一方、セル島根は相手陣内に果敢に攻めていくが、AL飯能のディフェンスを崩すことが出来ず得点することが出来ない。そのまま試合が終了し3-1でAL飯能が勝利し、勝ち点18とし3位に浮上した。

テクニカルオフィサー ジャッジ	下島 多美子 遠藤 博行	アンパイア	小原 直也 渡邊 道彦
--------------------	-----------------	-------	----------------

第2試合 Bコート M48

東京農業大学 3 $\begin{pmatrix} 1 - 2 \\ 2 - 2 \end{pmatrix}$ 4 福井クラブ

勝点 6
2 勝 0 分 6 敗

勝点 11
3 勝 2 分 3 敗

<得点>

東京農大 : 35分#3吉田、52分#3吉田、68分#2山口

福井ク 19分#13渡辺、33分#13渡辺、46分#2為国、63分#18小林

<戦評>

福井クラブのセンターパスで試合が始まった。開始からお互い一步も引かない接戦の中、13分東京農業大学がPCを獲得するが得点には繋がらない。19分に福井クラブの素早いパス回しで東京農大DFをくずし、福井ク#1斎藤のアシストで#13渡辺がタッチシュートを決め、福井クが先制点を挙げる。33分にも福井ク#13渡辺がタッチシュートでゴールを決め2点差とする。しかし、35分には東京農大がPCから#3吉田がフリックシュートを決め2-1とし、福井クの1点リードで前半を折り返した。両チーム前半からの勢いそのまま後半に入った。46分に福井クがPCから#2為国がフリックシュートを決め3-1とし差をひろげる。対する東京農大も52分、PCから#3吉田がフリックシュートを決め3-2。再び1点差に詰め寄る。その後、両チームチャンスは作るものの決定打は出ず、こう着状態が続く。しかし63分、福井クが一瞬のすきを突き、#18小林がシュート。これが決まり4-2と再び2点差にひろげた。粘る東京農大も68分にPCをとり、#2山口がシュートを決め4-3とする。終了間際福井クがPCをとるが、東京農大が防ぎ追加点を与えない。そのまま試合が終了し4-3で福井クが勝利。勝ち点11とし9位から6位に浮上した。

テクニカルオフィサー ジャッジ	下島 多美子 遠藤 博行	アンパイア	藤原 信幸 野澤 達
--------------------	-----------------	-------	---------------